

和歌山県田辺市（有限会社 龍神温泉元湯）第三セクター等経営健全化方針

1 作成年月日及び作成担当部署

作成年月日 令和4年3月28日
作成担当部署 和歌山県田辺市商工観光部観光振興課

2 第三セクター等の概要

法人名 有限会社 龍神温泉元湯
代表者名 代表取締役 平岡 照章
所在地 和歌山県田辺市龍神村龍神 37 番地
設立年月日 平成 10 年 10 月 29 日
資本金 6,000 千円【当該地方公共団体の出資額（出資割合）3,000 千円（50%）】
業務内容 公衆浴場、簡易宿泊所

3 経営状況、財政的なリスクの現状及びこれまでの地方公共団体の関与

経営状況については、一般管理費等の削減を実施し限界まで固定費用を抑えているが、チップボイラーの度重なる故障、燃料費の高騰に加え新型コロナウイルスによる集客全体数減少、対策としての入浴人数制限などの影響での売上減少が著しい。

財政逼迫については、指定管理納付金の撤廃を始め、直接経費である施設老朽化による改修や設備機器の修繕をリスク分担により市で実施。地方自治法第 243 条の 3 第 2 項に基づき、事業計画及び予算、事業報告及び決算において田辺市への報告及び評価を実施し市議会に報告しており、売上に関しては令和 2 年と新型コロナ以前の令和元年比で 20%以上減少しているため、支出との収支バランスが崩れた形となった。

市の関与としては、出資者として有限会社龍神温泉元湯の役員として取締役会に出席し、経営状況等の報告を受け、必要に応じて適切な指導を行ってきている。

4 抜本的改革を含む経営健全化の取組に係る検討

宿泊を伴わない日帰り入浴を目的とする利用者も多く、当温泉による集客及び地域貢献は当地において不可欠な事業であり重要性は大きい。温泉資源を活かし半公共的な事業所として温泉を提供することで地域性の確立が成り立っている部分もある。現状の集客数のままでは経営が逼迫するのは明らかであるが、施設に要する固定費の削減はこれまでも十分行ってきており、今後大幅に削減することは困難であるため、入込客を増やすことで採算性の確保を目指す。源泉所有者で構成される温泉協会との協力体制を確保しつつ、当施設及び周辺観光施設等含む局地的な観光推進による入込客増加を図る仕組みとともに、既存売上の入浴料や宿泊料に加え他の収益方法の確立も模索。経営努力による運営改善を図る方法が望ましいと考える。

5 抜本的改革を含む経営健全化のための具体的な対応

観光協会や周辺観光旅館と連携し、協会の事業を活用した集客に取り組む。

経常費用の更なる削減を図るため、燃料（重油）価格折衝、電力自由化による相見積等固定費削減。
新型コロナの影響が大きく赤字解消の期限は設けにくい、R4～R6 年の 3 年での赤字解消を計画。

（参考）

6 法人の財務状況

貸借対照表から	項目	金額（千円）		
		令和 2 年度	令和元年度	平成 30 年度
	資産総額	23,601	25,279	24,141
	（うち現預金）	(22,579)	(23,402)	(21,371)
	（うち固定資産）	(1,022)	(1,349)	(1,714)
	（うち繰延資産）	(0)	(528)	(1,056)
	負債総額	23,983	23,292	22,743
	（うち当該地方公共団体からの借入金）	(0)	(0)	(0)
	純資産額	-382	1,986	1,398

損益計算書から	項目	金額（千円）		
		令和 2 年度	令和元年度	平成 30 年度
	経常収益	48,958	58,319	53,910
	経常費用	51,256	57,659	57,167
	経常損益	△2,298	660	△3,257
	経常外損益	0	0	0
	当期純損益	△2,369	589	△3,292

※法人の形態に従って適宜書き換えること